

令和6年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉大学

令和7年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学における動物実験等を適正に行うため、全学の規程として国立大学法人千葉大学動物実験実施規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程に基づき、動物実験計画の審査、実施状況及び結果の把握、飼養保管施設及び実験室の審査、実験動物の飼養保管状況の把握、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、その他動物実験等の適正な実施に関して学長に報告又は助言を行う組織として、全学動物実験委員会が置かれている。 動物実験等を実施していない部局からも委員を選出している。また、外部委員1名が委員会に参加している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 千葉大学動物実験計画書 千葉大学動物実験計画書 申請者向け Q&A 動物実験等における苦痛度について 千葉大学動物実験実施における苦痛軽減のための麻酔薬コード表 共同研究・外部委託実験 千葉大学内の申請要否等の基準表 飼養保管施設設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む） 実験室設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む） 施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届 動物実験計画の審査フロー図 飼養保管施設・実験室の設置フロー図 動物実験（施設）体制図 令和6年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書 令和6年度 動物実験の自己点検票 令和6年度飼養保管状況報告書 令和6年度 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程及び諸様式等により適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 国立大学法人千葉大学病原体等安全管理規程 国立大学法人千葉大学化学物質管理規程 国立大学法人千葉大学放射線障害予防規程 国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程 千葉大学動物実験計画書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験等については、上記諸規程により適正に定められている。 遺伝子組換え実験及び病原体等を取扱う動物実験等については、当該動物実験計画申請時に、関連する遺伝子組換え実験等計画申請及び病原体等取扱申請が承認されているか（申請されているか）確認をしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む） 飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書） 使用可能な飼養保管施設一覧 令和6年度飼養保管状況報告書 令和6年度 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 学内の全ての飼養保管施設の存在及び実験動物の飼養保管体制を把握するとともに、各施設に実験動物管理者を置いている。 全ての飼養保管施設において、実験動物管理者の指導のもと、注意事項や飼育管理等記載されたマニュアル（標準操作手順書）が整備・保管されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

Ⅱ．実施状況

1．動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画の審査フロー図 飼養保管施設・実験室の設置フロー図 令和6年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨 令和6年度動物実験委員会 議事要旨等 動物実験等における苦痛度について 千葉大学動物実験実施における苦痛軽減のための麻酔薬コード表 共同研究・外部委託実験 千葉大学内の申請要否等の基準表
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画については計397件、飼養保管施設・実験室については計8件の審査を実施し、関係法令及び規程等に基づき指導助言又は確認を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 令和6年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨 令和6年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書 令和6年度 動物実験の自己点検票 令和6年度動物実験に係る年度報告（動物別使用匹数・飼養匹数）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和6年度は、397件の動物実験計画（次年度実施予定分含む。）の申請があり、397件が承認された。なお、397件のうち委員会審査による修正等意見が付された動物実験計画の件数は166件であった。 「令和6年度動物実験に係る年度報告」及び「令和6年度動物実験の自己点検票」について、令和6年度中実施計画376件（年度内変更、取り下げ除く）全て提出され、適正に動物実験が実施されていることが確認された。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 令和6年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書（安全管理に関する報告） 令和6年度 動物実験の自己点検票（傷害や疾病に関する点検） 令和6年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨（安全管理を要する動物実験計画一覧）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 千葉大学における安全管理を要する動物実験等（遺伝子組換え動物実験、病原体等を取扱う動物実験、放射性同位元素・放射線を使用する動物実験及び化学発癌・重金属を扱う動物実験）について、マウス咬傷の事例が1件発生し（総合安全衛生管理機構に連絡、特にアレルギー症状等なく自然治癒）、動物実験委員会に再発防止策（マウスの取り扱いが未熟な実験者への教育、作業用手袋の使用）を含む報告がなされた。
4) 改善の方針、達成予定時期 再発防止策として、マウスの取り扱いが未熟な実験者への教育、作業用手袋の使用が実施されている。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 令和6年度飼養保管状況報告書 令和6年度 実験動物飼養保管状況の自己点検票 使用可能な飼養保管施設一覧 飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「令和6年度飼養保管状況報告書」及び「令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票」について、提出対象58ヶ所（令和6年度廃止施設1ヶ所含む）全ての飼養保管施設から提出があり、適正に実施されていることが確認された。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 使用可能な飼養保管施設一覧 使用可能な動物実験室一覧 令和6年度飼養保管状況報告書 令和6年度 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 新規設置又は変更の際には原則として全学動物実験委員会による写真調査（必要に応じて立ち入り調査）を実施しており、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に管理されることを確認している。新規設置又は変更の審査時に確認できた施設等の不適切な箇所については、改善を求め、改善の確認を行い、承認している。 過去に承認済みの施設の維持管理状況については、「令和6年度飼養保管状況報告書」及び「令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票」により、提出対象58ヶ所（令和6年度廃止施設1ヶ所含む）全ての飼養保管施設から提出があり、内容を確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練の開講通知 教育訓練の開講記録 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（教育訓練教材）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和6年度の教育訓練についてはオンライン形式（通年、随時）によって実施し、合計1, 165名が受講した。動物実験実施者等には年1回の受講を義務づけており、動物実験計画書審査の際に実験実施者名簿等で受講の有無を確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 千葉大学ホームページ（国立大学法人としての公表事項） 令和6年度動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価及び関連事項の情報公開については、平成21年度から実施している。 国立大学法人動物実験施設協議会の要請する情報公開項目については、全て対応済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当しない。
